

## 第 30 回日本身体障がい者水泳選手権大会参加上の注意事項

### 1 競技規則と競技方法

- 1) 本大会は、2013 年度 JSFD 競技運営指針 (IPC 水泳競技規則に準拠) 及び本大会要綱に基づいて行う。
- 2) 競技方法は、リレーは予選を実施、個人種目はタイムレース決勝とし、複数のクラスが同時に行われた記録の処理はクラス毎とする。各種目 (リレーの場合はチーム) の優勝者に金メダルが授与される。2 位には銀メダル、3 位には銅メダルが授与される。ただし、参加申込者が 2 名 (チーム) までの種目は 1 位のみ、3 名 (チーム) の種目は 2 位までにメダルを授与する。表彰状は授与せず、記録証を全員に授与する。リレー優勝チームには優勝カップなどを授与する。(取りきり、2 位、3 位はなし、個人メダルのみ) 知的オープン競技にもメダルを授与する。
- 3) 大会では、日本水泳連盟の競技者資格規定が準用されるので、スポーツマンシップに注意すること。
  - \*水着、広告規制、ミサンガ、イヤリングなど招集所でチェックされるので、その旨心得ること。
  - なお、スイムキャップの重ね着は広告規制違反に問われるケースもあるので注意すること
  - \*テーピング・サポーターも原則禁止されている。絆創膏などもテーピングとみなされ、審判長の指定した役員の許可が必要。(該当レースの 30 分前までに招集所で申し出ること)
- 4) 水着の取り扱いについては、2012 年 3 月 31 日付「2012 年 4 月以降の日本身体障がい者水泳連盟及び地域連盟主催、公認の大会における水着の取り扱いについて」を参照すること。

### 2 スタートについて

- 1) スタートは 1 回のみとし、やり直しは行わない。他の選手がフォルススタートした場合も出発合図員の号砲によってスタートすること。

#### ※スタートの方法

審判長の短い笛の合図で準備し、長い笛の合図でスタート台に上がり、「用意」の合図を待つ。背泳ぎ以外で水中スタートする場合は短い笛の合図で、直ちに自コースもしくは近い方のプールサイドから入水し、自コース内に移動する。飛び込みスタートの時は「用意」の合図の前にスタート台の前縁に足の指をかけて、号砲を待っても構わない。ただし、同じ組で水中スタートと飛び込みスタートの選手がいる場合は、短い笛と長い笛の間が空くので、飛び込みスタートの選手はリラックスして待つこと。(競技の進行上、水中スタートする選手でプールサイドから入水する選手は個々人の選手紹介が終わり次第プールサイドに移動し入水、準備をすること)

### 3 競技順

競技は、女子・男子の順に大会プログラムの順序で行う。シニア、一般についてはシニア種目を先に行う。

### 4 招集

招集は、指定された招集場所において、競技開始時間の 30 分前より開始し、10 分前に終了する。招集時間に遅れた者は棄権とみなすので、各自プログラムで自分の招集開始時間を確認すること。また、競技の進行に注意すること。(競技進行が 20 分以上早くなった場合は、場内放送を入れる。) なお、当日競技を棄権することになった場合は、競技開始 1 時間前までに招集へ申し出ること。

## 5 競技エリア内入場許可、介助申請

本大会では、ルールエクセプションコード「T」、「A」の記載のある選手の介助申請は不要とする。「T」、「A」の記載のない選手コーチや介助者が競技エリアに入る場合は、許可が必要である。該当レース 30 分前までに、理由を記載した許可申請書を招集へ提出すること。内容によっては認められないことがある。また、入退水、タッピングなどの介助を大会本部に依頼する場合も、該当レース 30 分前までに招集へ申請が必要である。申請書は、受付で配布する。申請書は日本身体障がい者水泳連盟ホームページからもダウンロードできる。(http://paraswim.jp/)

なお、大会本部に介助を依頼する場合、介助の内容を介助者に詳細に伝えて打ち合わせを行い、怪我など問題が起こらないように努めること。

## 6 競技時間

競技時間は、進行により変更する場合があるので、各自進行状況に注意すること。(進行が 30 分以上早くなった場合は、審判長の判断で時間を調整する。)

## 7 棄権・訂正について

氏名、所属の訂正や棄権の場合はそれぞれプログラム訂正用紙、棄権届に記入し、競技開始 1 時間前までに招集へ提出すること。参加種目の変更や追加は一切認めない。プログラム訂正用紙、棄権届は受付で配布する。

## 8 抗議について（クラス分けに関する抗議は別の定めに従うこと）

競技開始前に判明した事項は出発合図の前に文書で審判長に提出しなければならない。競技終了後の抗議は、レース終了後 30 分以内に文書によって大会本部総務へ抗議料 10,000 円を添えて提出しなければならない。抗議用紙は、大会本部総務に備え付けている。

\* 審判長へ失格理由などを問い合わせることは抗議ではない。

## 9 表彰

表彰は、競技終了後直ちにプールサイド表彰場にて行う。入賞した選手は、表彰者控え場所に待機すること。

## 10 速報の掲示

速報は、2 階ロビーに掲示する。

## 11 リレーオーダー等について

各チームの責任者は、リレーオーダー用紙をその種目の開始 1 時間前までに招集に提出すること。(ポイント記載や選手の重複出場など間違いのないようにすること。)

リレーにおける第一泳者の記録は測定しない。

## 12 ウォーミングアップについて

メインプール

9月14日(土) 10:10~11:30(公式スタート練習時間 11時~)

9月15日(日) 9:00~9:50(公式スタート練習時間 9時30分~)

※公式スタート練習時間は目安である、当日の案内に従うこと。

※25mサブプールは上記時間から競技中ならびに競技終了後30分程度アップ、ダウンに使用可能

### 1.3 監督者会議について

監督者会議は9月14日（土）11:00～11:20に1Fホールで行う。

### 1.4 クラス分けについて

大会前日にクラス分けテストを行う。その時に決定したクラスがエントリークラスより優先される。クラスが変更になった場合、必要であれば種目の変更が認められる。大会当日は全競技において、クラス観察を行う。クラス分け委員から指示があれば、その指示に従い必要なテスト（ベンチテスト、ウォータテスト等）や手続き（診断書など）を行うこと。

### 1.5 ドーピングについて

本大会ではドーピング検査を実施することがある。障害上、必要な薬物使用であっても、許可を得ていなければドーピングと見なされる。ドーピング違反となった場合は規定に従って出場停止などの処分があるので注意すること。

### 1.6 その他

- 1) 選手受付は2階ロビーで行う。ただし車椅子個人選手は1Fロビーで行う。
- 2) 貸出用車椅子を使用する場合は、所定の用紙に記入の上1000円の保証料を預け、借用すること。車椅子返却時に、保証料は返却する。貸出場所は、1Fロビーに設ける。
- 3) 選手の休憩・待機場所は、2F・3F選手席とする。  
但し、車椅子選手の休憩場所は、1Fプールサイドとする。
- 4) 弁当申込者（事前のみ）は、午前11時以降に受付に取りに来ること。空き箱は回収するので午後2時までに弁当引換所まで返却のこと。
- 5) 観覧・応援はプール観覧席を利用すること。車椅子観覧スペースは3Fにあるが、1Fプールサイドの所定場所でもかまわない。  
大会側より許可を受けた者以外の競技エリア内への入場はできない。
- 6) 更衣は、50mプール選手専用更衣室を利用すること。紛失などの責任は一切負わない。また、大会1日目終了後は必ず荷物はロッカーに入れたままにせず持ち帰ること。  
25mプール更衣室は 家族更衣室として利用するので 関係者以外は立ち入らないこと
- 7) 大会期間中における事故または傷病については、応急処置のみとする。その他の責任は負わないので、体調などは各自自己管理すること。
- 8) 大会会場での写真・映像撮影は、指定の場所（観客席）でおこなうこと。指定の場所以外の写真・映像撮影は禁止する。
- 9) 参加要綱にも記載したように、本大会では、ユーストリームで競技状況の映像などを配信するので、選手としての自覚をもって行動をするなど、その旨心得ること。
- 1.0) 個人情報の取り扱いについて  
本大会のプログラム記載事項、記録などは連盟ホームページで公開する予定である。その他、連盟の個人情報取り扱い方針（連盟ホームページにて案内）に基づいて行われる。
- 1.1) ゴミはすべて持ち帰ること。
- 1.2) 駐車場については、案内図と許可証を事前配布しているので、それに従うこと